



第3回日本視野学会学術集会 ランチョンセミナー3

「前」と「後」の眼疾患と QOV

2014年 6月 29日 (日)

11:50 ~ 12:50

第1会場 THE GRAND HALL

品川グランドセントラルタワー 3F

〒108-0075 東京都港区港南 2-16-4

座長
金沢大学 眼科 教授

杉山 和久 先生



1 前眼部疾患と QOV

杏林大学医学部附属病院
アイセンター 教授

山田 昌和 先生



山田先生 略歴

1986年 慶應義塾大学医学部卒業、同眼科学教室入局
1993年 米国 Duke 大学アイセンター研究員
1995年 慶應義塾大学眼科助手
1997年 慶應義塾大学眼科専任講師
2003年 国立病院機構東京医療センター
感覚器センター部長
2013年 杏林大学医学部附属病院 アイセンター教授

2 後眼部疾患と QOV

帝京大学医学部眼科学講座
教授

篠田 啓 先生



篠田先生 略歴

1990年 慶應義塾大学卒業
1996年 杏林大学国内留学
2001年 南ドイツチュービンゲン大学留学
2005年 国立病院機構東京医療センター眼科医長
2007年 大分大学医学部眼科准教授
2009年 帝京大学医学部眼科准教授
2013年 帝京大学医学部眼科学教授

第3回日本視野学会学術集会へのご参加には参加登録が必要です。
2014年6月2日 18:00 まで早期割引を実施しております。(※以降は当日登録となります)
ホームページをご参照ください。
<http://jps.umin.jp/meeting/m-index.html>

共催： 第3回日本視野学会学術集会 参天製薬株式会社

第3回日本視野学会学術集会 ランチョンセミナー3

日時 2014年6月29日(日) 11:50~12:50
会場 THE GRAND HALL (品川グランドセントラルタワー 3F)

「^{マエ}前」と「^{ウシロ}後」の眼疾患とQOV

21世紀の医療の目標の一つとして挙げられるのはQOLの確保。一方、眼科の毎日の診療で求められる「切実」は、より良い見え方、つまり「QOVの確保」。しかし、例えば角膜、結膜など「^{マエ}前の病気」では「矯正視力:1.0」にも関わらず、文字がにじんで見える、薄暗い場所では見えにくい、ジッと見ていると視力の低下感がある、などなどに遭遇。その「見え方のクオリティの多様さ」の実態把握に四苦八苦。「QOVの確保」の第一段階から周章狼狽!

一方、緑内障や網膜・神経疾患など「^{ウシロ}後の病気」では「矯正視力:1.0」ならば視野が欠損していても「見え方のクオリティはそのまま」。関係者こそって懸命の病状説明に勤しんでも、診療・治療の継続性が整いにくく、一方、突然「見え方のクオリティの悪さ」の訴えを聞けば、茫然自失!

「QOVの確保」は、まさに、毎日の外来で「ドゲンかせんと、イカン」臨床問題。今回、そこで、眼疾患の「^{マエ}前」と「^{ウシロ}後」の専門家に、眼科日常診療に即した「QOVとその確保」に関わる諸問題についての解説をいただき、さらに、その対応策のご提案をお願いした。外来での「周章狼狽」と「茫然自失」から立ち直り、目の前が明るく開き「QOVの確保」に向かって後押しされること! 疑いナシ。

座長

杉山 和久先生(金沢大学 眼科 教授)

1984年 金沢大学医学部卒業、岐阜大学眼科学教室入局
1996年 岐阜大学眼科講師
2002年 金沢大学眼科教授(現在に至る)

1990~92年 米国オレゴン医科大学眼科および Devers Eye Institute 留学
2000年 岐阜大学眼科助教授
2010年 金沢大学付属病院 副病院長(現在に至る)

演者

前眼部疾患とQOV

視力は問題ないのに「見えにくい」、明るくないのに「まぶしい」などなど、困ったときには前眼部をもう一度見直しましょう。何か隠れているかも知れません。

山田 昌和先生(杏林学園杏林大学医学部付属病院 教授)

1986年 慶應義塾大学医学部眼科研修医、専修医
1993年 米国 Duke 大学アイセンター研究員
1995年 慶應義塾大学眼科助手

1997年 慶應義塾大学眼科専任講師
2003年 国立病院機構東京医療センター感覚器センター部長
2013年 杏林大学医学部眼科学教授

後眼部疾患とQOV

眼科診療は「見えにくい」の奥深さを痛感する毎日です。後眼部疾患の「見えにくい」を「QOV」という視点から再考したいと思います。

篠田 啓先生(帝京大学医学部眼科学講座 教授)

1990年 慶應義塾大学卒業
2001年 南ドイツチュービンゲン大学留学
2007年 大分大学医学部眼科准教授
2013年 帝京大学医学部眼科学教授

1996年 杏林大学国内留学
2005年 国立病院機構東京医療センター眼科医長
2009年 帝京大学医学部眼科准教授